



Quality and reliability is our tradition

KYORITSU

デジタル高圧絶縁抵抗計 KEW 3125A

デジタル高圧メガの新スタンダード

最大測定値：1000G Ω

測定レンジ：250V-5000V



- 5レンジ定格測定電圧 (250V/500V/1000V/2500V/5000V)
- 成極指数 (PI) と誘電吸収比 (DAR) を自動計算表示
- G端子接地方式による絶縁抵抗測定が可能
- 出力電圧・オートディスチャージ電圧をモニター表示
- 大型ディスプレイ (バーグラフとバックライト付き)
- 国際安全規格 IEC 61010-1 CAT IV 300V / CAT III 600V 準拠

¥120,000 (税込¥132,000) ハードケース付き



新設計のワニグチで
大きいボルト頭にも対応

共立電気計器株式会社

www.kew-ltd.co.jp

● KEW 3125A 仕様

定格測定電圧	250V	500V	1000V	2500V	5000V
測定範囲 (オートレンジ)	0.0~100.0MΩ	0.0~99.9MΩ 80~1000MΩ	0.0~99.9MΩ 80~999MΩ 0.80~2.00GΩ	0.0~99.9MΩ 80~999MΩ 0.80~9.99GΩ 8.0~100.0GΩ	0.0~99.9MΩ 80~999MΩ 0.80~9.99GΩ 8.0~99.9GΩ 80~1000GΩ
精度	±5%rdg±3dgt	±5%rdg±3dgt	±5%rdg±3dgt	±5%rdg±3dgt	±5%rdg±3dgt ±20%(100GΩ以上)
短絡電流	約1.5mA				
定格測定電流	0.25MΩ負荷にて 0.7mA以上0.9mA以下	0.5MΩ負荷にて 0.8mA以上1mA以下	1MΩ負荷にて 1mA以上1.2mA以下	2.5MΩ負荷にて 1mA以上1.2mA以下	5MΩ負荷にて 1mA以上1.2mA以下
開放回路電圧	DC 250V -10%~+10%	DC 500V -10%~+20%	DC 1000V 0%~+20%	DC 2500V 0%~+20%	DC 5000V 0%~+20%
電圧測定範囲	AC:30~600V (50/60Hz) DC:±30~±600V				
電圧測定精度	±2%rdg±3dgt				
放電時間	約10秒/μF (放電抵抗 2MΩ)				
適合規格	IEC 61010-1 CAT IV 300V / CAT III 600V 汚染度2				
使用電池	単2形アルカリ乾電池LR14(1.5V)×8本				
外形寸法/質量	177(L)×226(W)×100(D) mm/約1.9kg(乾電池含む)				
本体付属品	7165A(ラインプローブ) ¥6,000(税込¥6,600)		7264(アースコード) ¥2,000(税込¥2,200)		
	7265(ガードコード) ¥2,000(税込¥2,200)		8019(先端フック) ¥600(税込¥660)		
	9184(ハードケース) ¥5,000(税込¥5,500)		単2形アルカリ乾電池×8本 取扱説明書		
別売オプション	7253(ワニグチタイプラインプローブ) ¥25,000(税込¥27,500)		7168A(ワニグチタイプラインプローブ) ¥9,000(税込¥9,900)		
			8302(記録計用アダプタ) ¥5,500(税込¥6,050)		

● 本体付属品



● G端子接地方式とは

Rc: ケーブルの絶縁抵抗
Rs: シースの絶縁抵抗
Rn: がいし、高圧機器等の大地間の絶縁抵抗
Ro: 測定器(3125A)の内部抵抗(40kΩ)
Io = Ic - Is
$$I_o = \frac{R_s}{R_s + R_o} \times I_c = \frac{1}{1 + \frac{R_o}{R_s}} \times I_c$$

Rs >> Ro であれば Io ≈ Ic となる

[注] E端子接地方式では、P-N間を短絡し、かつ、G-N間を開放する。

G端子接地方式とは、VCT等の高圧機器を外すことなく一括で高圧ケーブル単体の絶縁抵抗を測定できる測定方式です。上に記載した式により高圧ケーブル絶縁体の抵抗を求めることが出来ます。3125AはG端子接地方式に対応しています。本測定器の内部抵抗(Ro)は40kΩとなっているため、シース抵抗が1MΩ以上であれば、精度への影響は4%以下となります。

※社団法人日本電気協会著作物利用承諾第3-8

● 別売オプション



● 各種絶縁診断機能

成極指数 (PI) : Polarization Index
絶縁体の漏れ電流の時間的増加の有無を調べる試験です。成極指数は、絶縁体の形状、大きさに無関係な量で吸湿により変化するので、ケーブルの絶縁診断をおこなう上で重要な意味を持っています。

$$\text{成極指数} = \frac{\text{3分~10分後の絶縁抵抗値}}{\text{30秒~1分後の絶縁抵抗値}}$$

成極指数による判定は以下のとおりです。

成極指数	1.0以上	1.0~0.5	0.5以下
判定	良	要注意	危険な状態

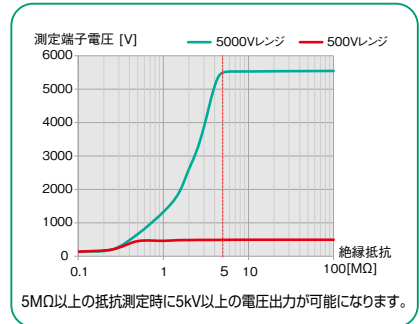
誘電吸収比 (DAR) : Dielectric Absorption Ratio
誘電吸収比 (DAR) は、絶縁の時間経過試験という意味では成極指数 (PI) と同じ方法です。唯一の違いは、結果を得るための時間が短くなっています。

$$\text{誘電吸収比} = \frac{\text{30秒~1分後の絶縁抵抗値}}{\text{15秒~30秒後の絶縁抵抗値}}$$

誘電吸収比による判定は以下のとおりです。

誘電吸収比	1.4以上	1.25~1.0	1.0以下
判定	最良	良	不良

● KEW 3125Aの出力特性



● 価格

KEW 3125A ¥120,000 (税込¥132,000)

安全にお使いいただくために ご使用の前に、商品に添付されている取扱説明書の「使用上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

■ お問い合わせ、ご用命は下記へ

共立電気計器株式会社
www.kew-ltd.co.jp

- 東京オフィス ☎ 03 (3723) 7021 FAX. 03 (3723) 0139
 - 大阪オフィス ☎ 06 (6337) 8648 FAX. 06 (6337) 8590
 - 名古屋オフィス ☎ 052 (939) 2861 FAX. 052 (939) 2862
 - 四国オフィス ☎ 089 (998) 4190 FAX. 089 (998) 4191
- 製品のご使用などに関するお問い合わせ
- お客様相談室 ☎ 0120-62-1172 (9:00~12:00, 13:00~17:00 土・日・祝日を除く)